

# 第 50 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(平成 29 年 2 月調査)

## ～景況感は足踏み状態～

### 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲3.1 (前回調査比 2.9 ポイント上昇)と**改善**となった。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「売上高」が改善、「営業利益」「人員・人手」「資金繰り」がほぼ横ばいとなった。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、建設業が▲3.1 (前回調査比 0.1 ポイント上昇)、製造業が 6.0 (前回調査比 8.9 ポイント上昇)、卸・小売業が▲16.1 (前回調査比 4.1 ポイント上昇)、サービス業が▲1.9 (前回調査比 3.8 ポイント下落)と、**建設業でほぼ横ばい、サービス業で D I 値がマイナスに転じて悪化したものの、製造業と卸・小売業で改善した。**
- **地域別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲2.7 (前回調査比 2.0 ポイント上昇)、村山北部が▲7.2 (前回調査比 10.6 ポイント下落)、最上が▲6.6 (前回調査比 7.3 ポイント上昇)、置賜が▲8.2 (前回調査比 12.5 ポイント上昇)、庄内田川が▲6.0 (前回調査比 9.8 ポイント下落)、庄内飽海が 6.9 (前回調査比 15.9 ポイント上昇)となっている。**村山北部、庄内田川で悪化した一方で、村山南部、最上、置賜、庄内飽海で改善**となった。村山北部では 3 期ぶり、庄内田川では 2 期ぶりに D I 値がマイナスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値」が▲10.6 (今回調査比 7.5 ポイント下落)と悪化の見込みとなり、景況感は足踏み状態が続いているものと考えられる。

### 【特別調査】

- **雇用調整**について尋ねたところ、「残業規制」が 32.5% (昨年比+6.6%)、「ワークシェアリング」が 9.7% (昨年比▲2.9%)、「従業員の削減」が 5.8% (昨年比▲1.1%)と、昨年に比べ、「残業規制」の割合が上昇した一方で、「ワークシェアリング」「従業員の削減」は低下した。
- **新卒者の採用状況**について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種で見ると 40.9% (昨年比▲1.4%)とおおむね横ばいとなった。

平成 29 年 2 月

株式会社 フィデア総合研究所

# 目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	雇用調整について	15
2.	新卒者の採用状況について	16
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		17
<参考資料 II : 調査の概要>		17

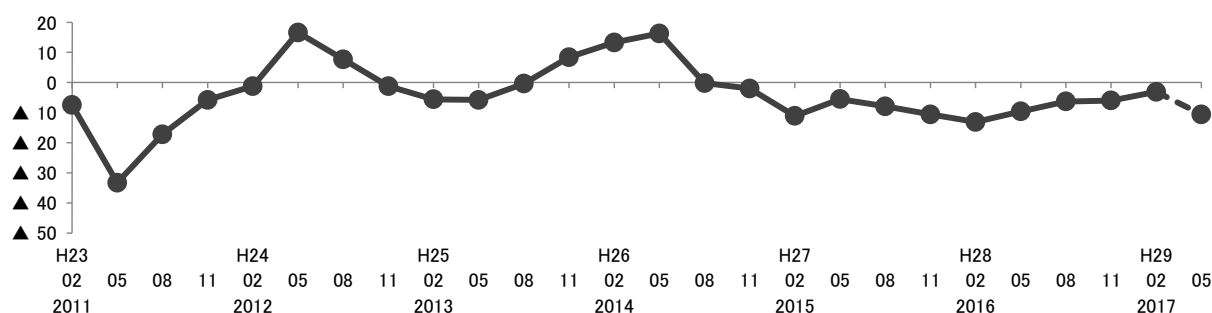
## I. 県内企業の業況

### 1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲3.1（前回調査比 2.9 ポイント上昇）と改善となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」が改善、「営業利益」「人員・人手」「資金繰り」がほぼ横ばいとなった。

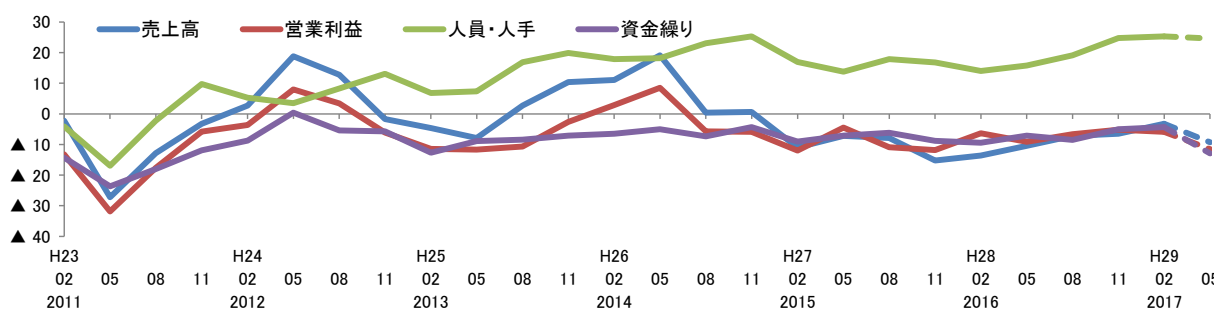
先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲10.6（今回調査比 7.5 ポイント下落）と悪化の見込みとなっており、景況感は足踏み状態が続いているものと考えられる。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 28.02 (n=428)	▲ 13.1	(▲ 2.5)	▲ 12.1	▲ 13.6	▲ 6.3	14.0	▲ 9.4
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	(3.5)	▲ 19.9	▲ 10.4	▲ 9.1	15.8	▲ 7.1
H 28.08 (n=457)	▲ 6.3	(3.3)	▲ 14.0	▲ 7.2	▲ 6.6	19.1	▲ 8.5
H 28.11 (n=435)	▲ 6.0	(0.3)	▲ 11.9	▲ 6.5	▲ 5.2	24.8	▲ 5.0
<b>H 29.02 (n=443)</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>(2.9)</b>	<b>▲ 10.1</b>	<b>▲ 3.2</b>	<b>▲ 5.9</b>	<b>25.3</b>	<b>▲ 4.3</b>
前回調査比	-	-	-	(3.3)	(▲ 0.7)	(0.5)	(0.7)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 10.6</b>	-	-	<b>▲ 9.3</b>	<b>▲ 11.5</b>	<b>24.6</b>	<b>▲ 12.9</b>
今回調査比	(▲ 7.5)	-	-	(▲ 6.1)	(▲ 5.6)	(▲ 0.7)	(▲ 8.6)

※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

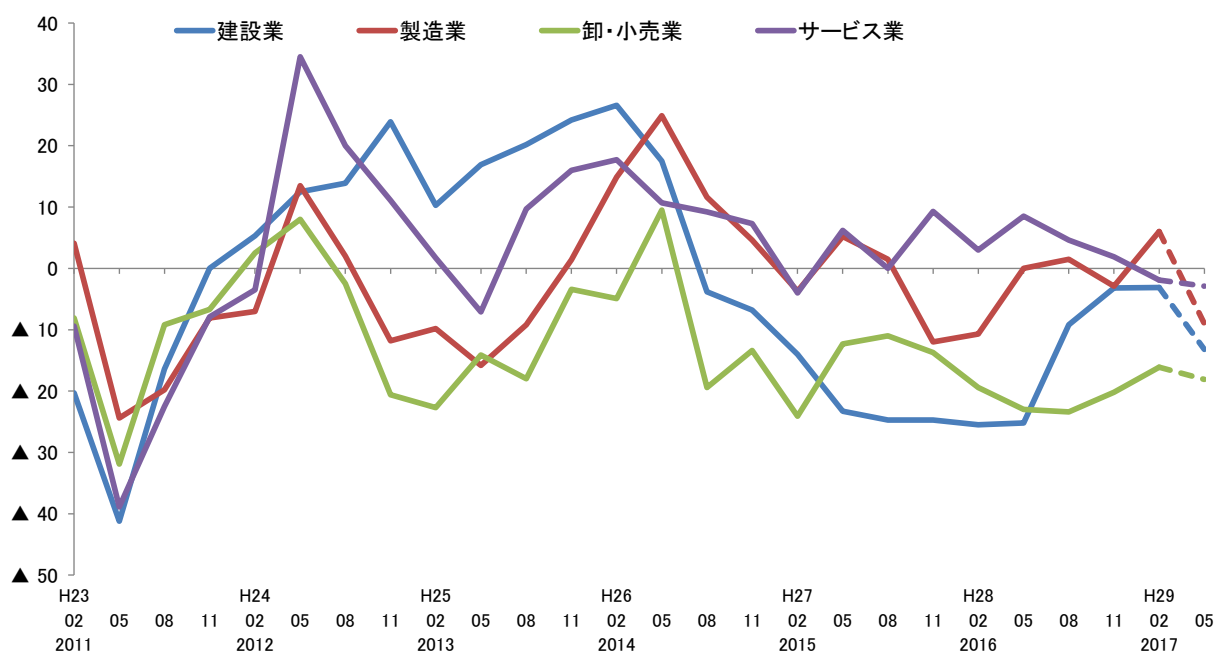
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲3.1（前回調査比 0.1 ポイント上昇）、製造業が 6.0（前回調査比 8.9 ポイント上昇）、卸・小売業が▲16.1（前回調査比 4.1 ポイント上昇）、サービス業が▲1.9（前回調査比 3.8 ポイント下落）と、建設業でほぼ横ばい、サービス業で D I 値がマイナスに転じて悪化したものの、製造業と卸・小売業で改善した。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.02 (n=428)	▲ 13.1	▲ 25.5	▲ 10.7	▲ 19.4	3.0
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	▲ 25.2	0.0	▲ 23.0	8.5
H 28.08 (n=457)	▲ 6.3	▲ 9.2	1.5	▲ 23.4	4.6
H 28.11 (n=435)	▲ 6.0	▲ 3.2	▲ 2.9	▲ 20.2	1.9
<b>H 29.02 (n=443)</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>6.0</b>	<b>▲ 16.1</b>	<b>▲ 1.9</b>
前回調査比	(2.9)	(0.1)	(8.9)	(4.1)	(▲ 3.8)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 10.6</b>	<b>▲ 13.2</b>	<b>▲ 9.0</b>	<b>▲ 18.1</b>	<b>▲ 2.9</b>
今回調査比	(▲ 7.5)	(▲ 10.1)	(▲ 15.0)	(▲ 2.0)	(▲ 1.0)

見通し

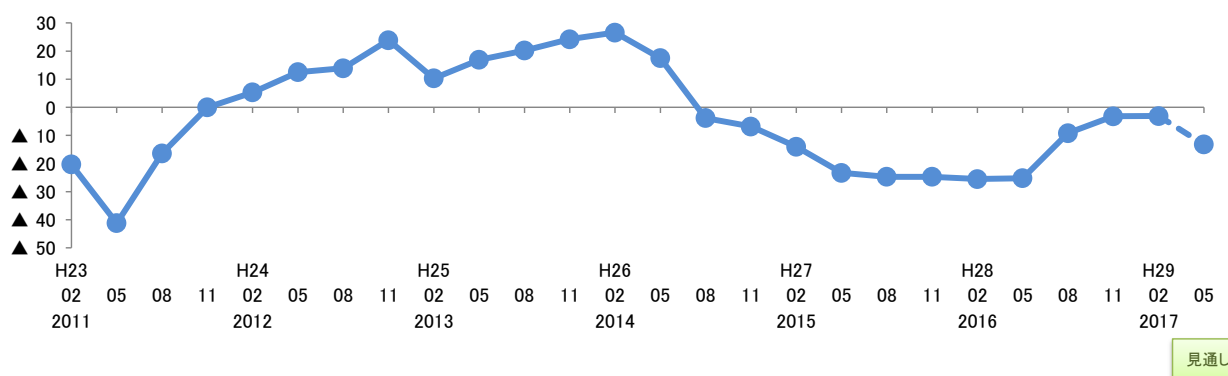
## (2) 業種別 D I 値の動向

### ① 建設業

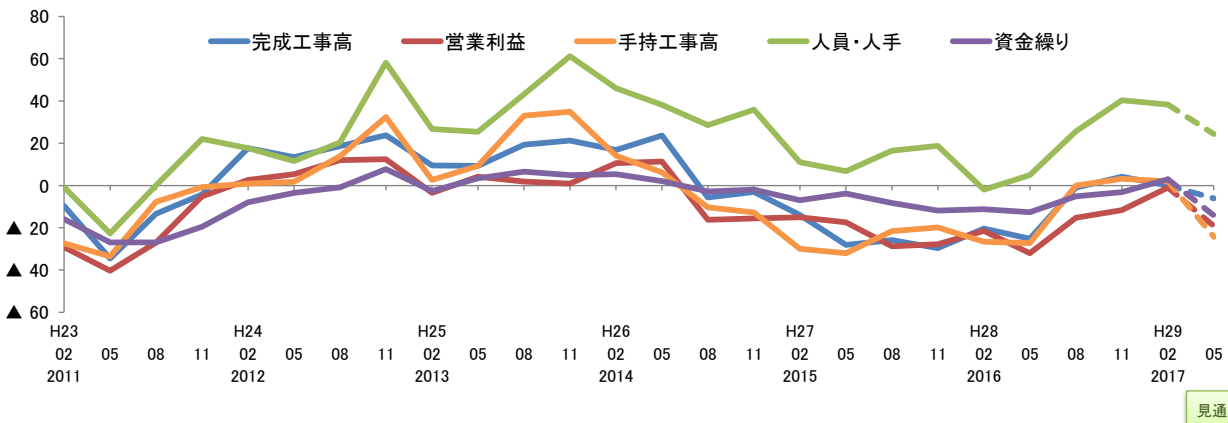
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲3.1（前回調査比 0.1 ポイント上昇）とほぼ横ばいとなった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「完成工事高」「手持工事高」「人員・人手」で悪化したものの、「営業利益」「資金繰り」が改善となった。足元は公共工事や新設住宅着工戸数が前年に比べれば増加傾向にあるものの、企業の景況感は一貫して低調に推移している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲13.2（今回調査比 10.1 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなり、公共工事等の見込みが不透明なことから先行きを懸念する状況となっている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

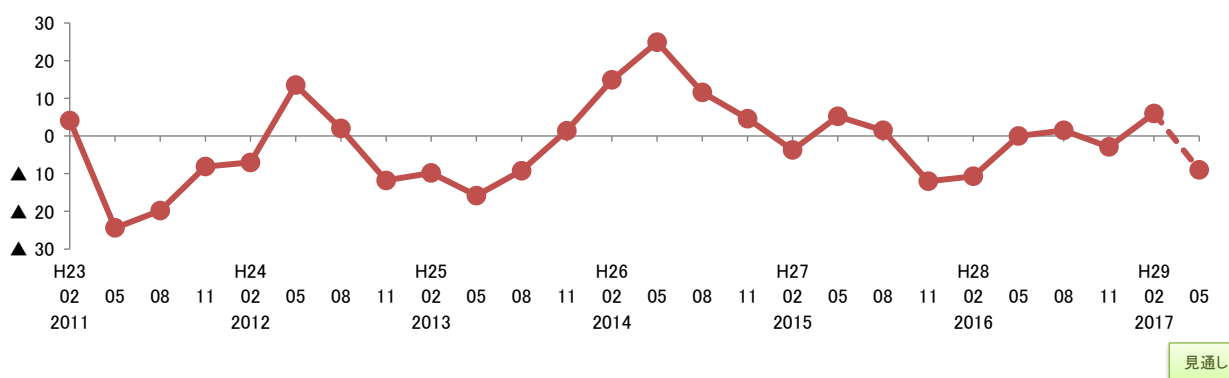
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H 28. 02 (n=98)	▲ 25.5	(▲ 0.8)	▲ 27.7	▲ 20.4	▲ 21.5	▲ 26.6	▲ 2.0	▲ 11.2
H 28. 05 (n=103)	▲ 25.2	(0.3)	▲ 37.7	▲ 25.2	▲ 32.0	▲ 27.2	4.9	▲ 12.6
H 28. 08 (n=98)	▲ 9.2	(16.0)	▲ 30.1	▲ 1.0	▲ 15.3	0.0	25.6	▲ 5.1
H 28. 11 (n=94)	▲ 3.2	(6.0)	▲ 20.4	4.2	▲ 11.7	3.2	40.4	▲ 3.2
<b>H 29. 02 (n=99)</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>(0.1)</b>	<b>▲ 17.0</b>	<b>0.0</b>	<b>▲ 1.0</b>	<b>2.0</b>	<b>38.3</b>	<b>3.0</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 4.2)	(10.7)	(▲ 1.2)	(▲ 2.1)	(6.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 13.2</b>	-	-	<b>▲ 6.1</b>	<b>▲ 19.2</b>	<b>▲ 24.3</b>	<b>24.3</b>	<b>▲ 14.2</b>
今回調査比	(▲ 10.1)	-	-	(▲ 6.1)	(▲ 18.2)	(▲ 26.3)	(▲ 14.0)	(▲ 17.2)

## ② 製造業

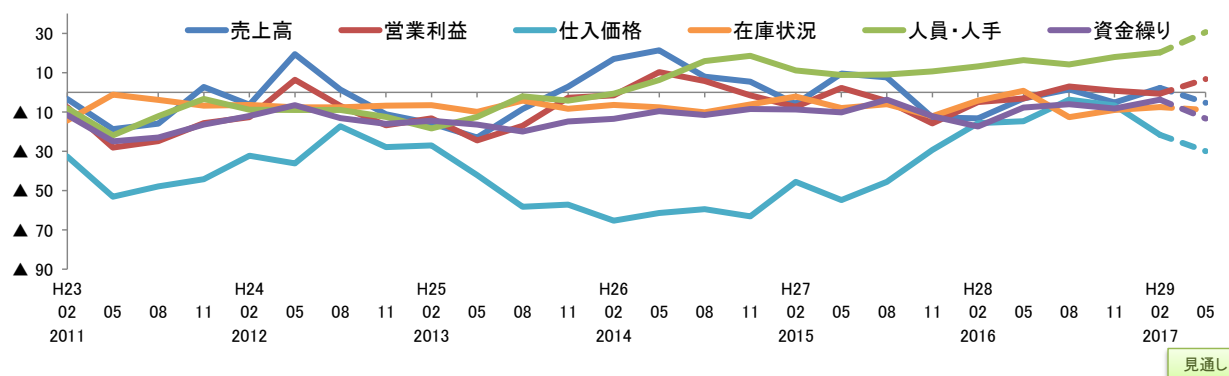
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 6.0（前回調査比 8.9 ポイント上昇）と、前回調査でマイナスに転じた D I 値が再びプラスとなり、一進一退の状況となっている。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」「仕入価格」で悪化となったものの、「売上高」「在庫状況」「人員・人手」「資金繰り」が改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲9.0（今回調査比 15.0 ポイント下落）と悪化し、D I 値が再びマイナスに転じる見込みとなっており、為替相場や国際政治の不安定さなどから先行きを懸念している状況が考えられる。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



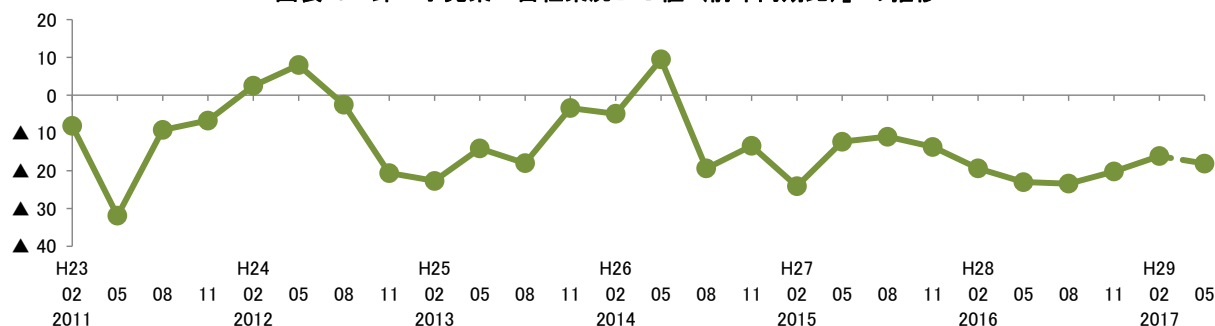
前年同期比の自社業況 D I 値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 28.02 (n=121)	▲ 10.7	(1.3)	▲ 2.3	▲ 13.2	▲ 5.0	▲ 15.7	▲ 4.2	13.2	▲ 17.4
H 28.05 (n=129)	0.0	(10.7)	▲ 10.7	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 14.7	0.8	16.3	▲ 7.8
H 28.08 (n=134)	1.5	(1.5)	3.9	1.5	3.0	▲ 3.7	▲ 12.7	14.2	▲ 6.0
H 28.11 (n=134)	▲ 2.9	(▲ 4.4)	▲ 7.5	▲ 5.2	0.8	▲ 6.7	▲ 9.0	18.0	▲ 8.2
<b>H 29.02 (n=134)</b>	<b>6.0</b>	<b>(8.9)</b>	<b>4.5</b>	<b>2.2</b>	<b>▲ 0.7</b>	<b>▲ 21.7</b>	<b>▲ 7.5</b>	<b>20.2</b>	<b>▲ 3.7</b>
前回調査比	-	-	-	(7.4)	(▲ 1.5)	(▲ 15.0)	(1.5)	(2.2)	(4.5)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 9.0</b>	-	-	<b>▲ 5.3</b>	<b>6.7</b>	<b>▲ 29.9</b>	<b>▲ 9.0</b>	<b>30.6</b>	<b>▲ 13.4</b>
今回調査比	(▲ 15.0)	-	-	(▲ 7.5)	(7.4)	(▲ 8.2)	(▲ 1.5)	(10.4)	(▲ 9.7)

### ③ 卸・小売業

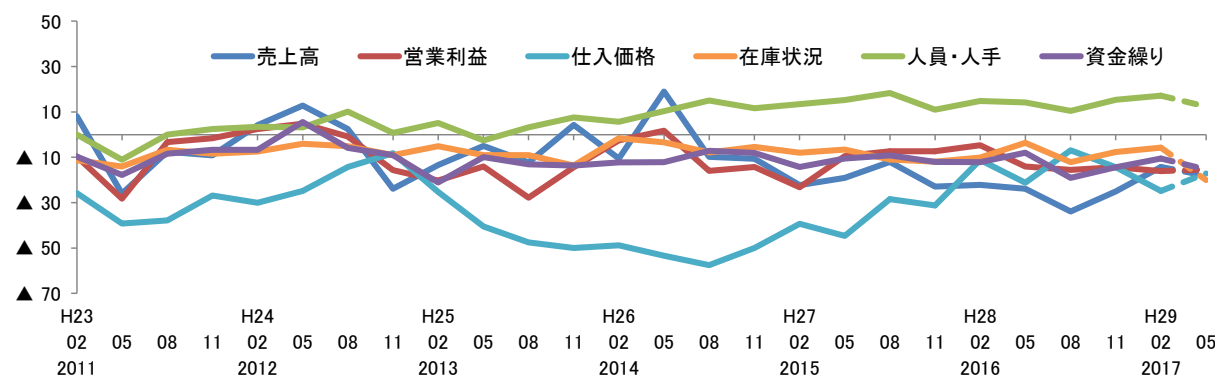
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲16.1（前回調査比4.1ポイント上昇）と2期連続で改善となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「営業利益」「仕入価格」で悪化したものの、その他4項目で改善となった。しかしながら、引き続きDI値は低水準で推移しており、消費が低迷しているものと考えられる。業況の先行き見通しは、▲18.1（今回調査比2.0ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

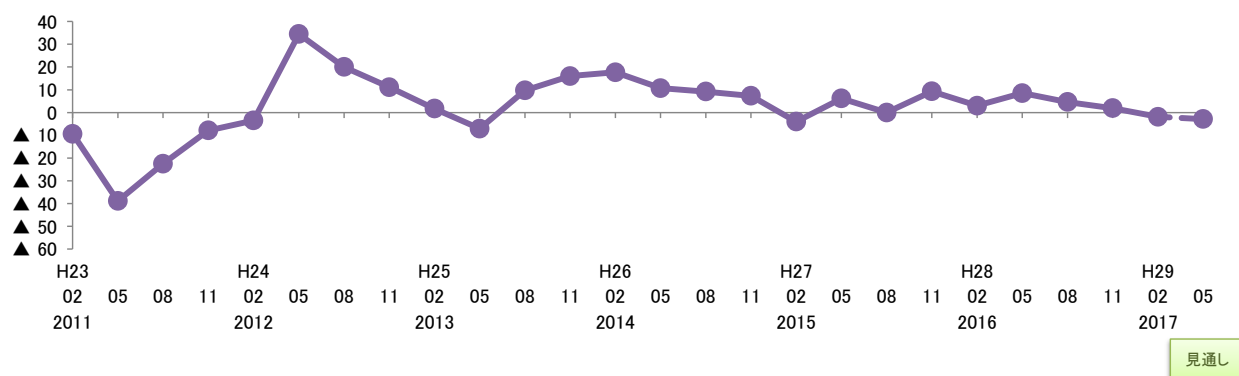
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 28.02 (n=108)	▲ 19.4	(▲ 5.7)	▲ 16.5	▲ 22.2	▲ 4.7	▲ 11.2	▲ 10.1	14.8	▲ 12.1
H 28.05 (n=113)	▲ 23.0	(▲ 3.6)	▲ 24.1	▲ 23.9	▲ 14.1	▲ 21.2	▲ 3.6	14.2	▲ 8.0
H 28.08 (n=115)	▲ 23.4	(▲ 0.4)	▲ 14.2	▲ 33.9	▲ 15.6	▲ 6.9	▲ 12.1	10.4	▲ 19.1
H 28.11 (n=104)	▲ 20.2	(3.2)	▲ 12.2	▲ 25.0	▲ 14.4	▲ 14.4	▲ 7.7	15.4	▲ 14.4
<b>H 29.02 (n=105)</b>	<b>▲ 16.1</b>	<b>(4.1)</b>	<b>▲ 15.4</b>	<b>▲ 14.3</b>	<b>▲ 16.1</b>	<b>▲ 24.8</b>	<b>▲ 5.7</b>	<b>17.2</b>	<b>▲ 10.5</b>
前回調査比	-	-	-	(10.7)	(▲ 1.7)	(▲ 10.4)	(2.0)	(1.8)	(3.9)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 18.1</b>	-	-	<b>▲ 18.1</b>	<b>▲ 15.3</b>	<b>▲ 17.2</b>	<b>▲ 20.0</b>	<b>12.4</b>	<b>▲ 15.3</b>
今回調査比	(▲ 2.0)	-	-	(▲ 3.8)	(0.8)	(7.6)	(▲ 14.3)	(▲ 4.8)	(▲ 4.8)

### ④ サービス業

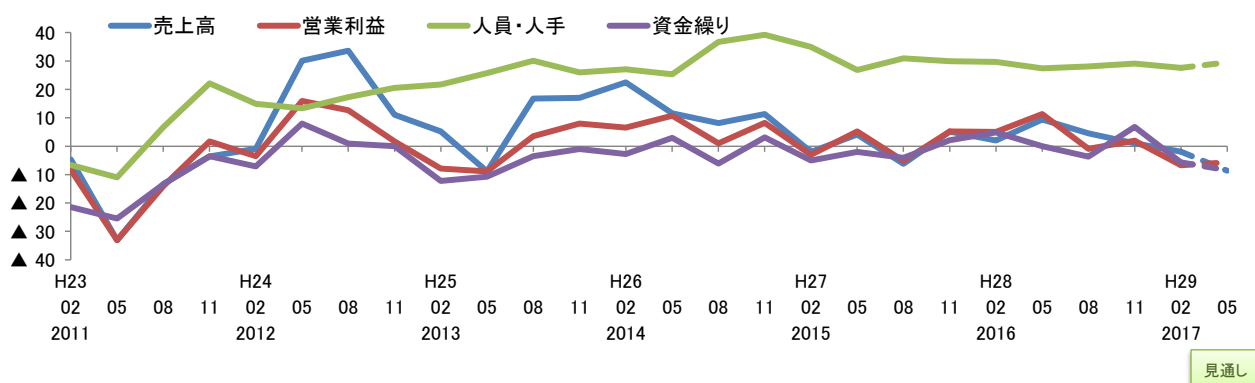
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲1.9（前回調査比 3.8 ポイント下落）と 3 期連続で悪化してDI値がマイナスに転じ、業況は低調に推移している。「各種DI値（前年同期比）」をみると、すべての項目で悪化となっている。各社のコメントから、旅館・ホテル業などで需要低迷の状況がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲2.9（今回調査比 1.0 ポイント下落）と若干悪化の見込みとなっている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 28.02 (n=101)	3.0	(▲ 6.3)	▲ 4.1	2.0	5.0	29.7	4.9
H 28.05 (n=106)	8.5	(5.5)	▲ 8.9	9.4	11.3	27.4	0.0
H 28.08 (n=110)	4.6	(▲ 3.9)	▲ 19.8	4.5	▲ 0.9	28.1	▲ 3.7
H 28.11 (n=103)	1.9	(▲ 2.7)	▲ 9.1	1.0	1.9	29.1	6.8
<b>H 29.02 (n=105)</b>	<b>▲ 1.9</b>	<b>(▲ 3.8)</b>	<b>▲ 17.5</b>	<b>▲ 1.9</b>	<b>▲ 6.7</b>	<b>27.6</b>	<b>▲ 5.7</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 2.9)	(▲ 8.6)	(▲ 1.5)	(▲ 12.5)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 2.9</b>	-	-	<b>▲ 8.6</b>	<b>▲ 5.7</b>	<b>29.5</b>	<b>▲ 8.5</b>
今回調査比	(▲ 1.0)	-	-	(▲ 6.7)	(1.0)	(1.9)	(▲ 2.8)



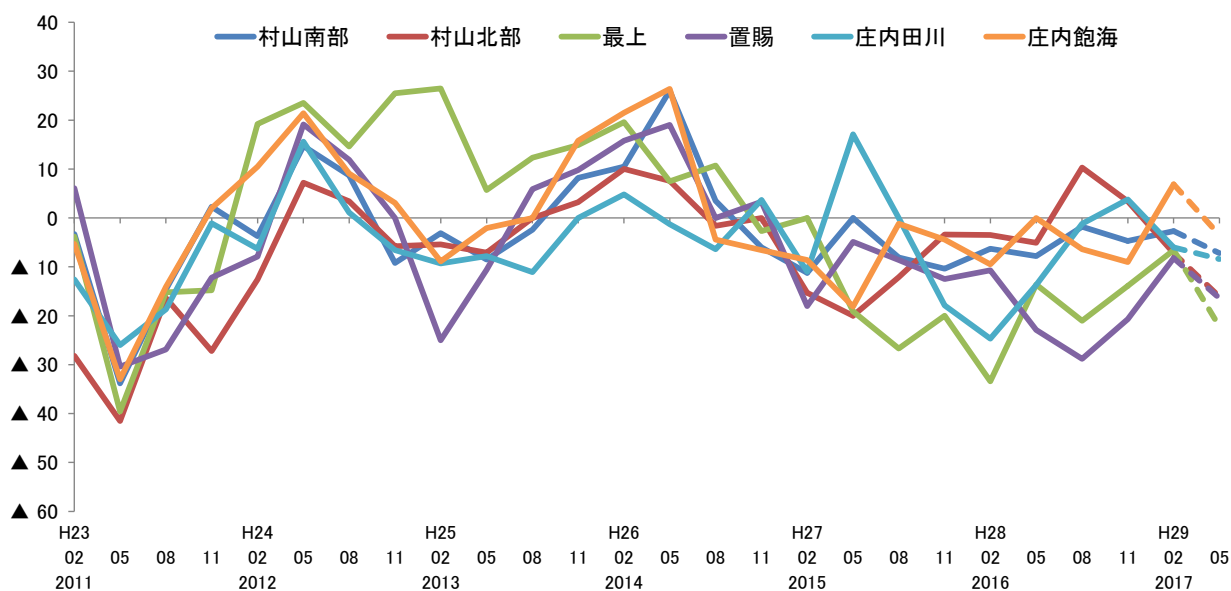
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲2.7（前回調査比 2.0 ポイント上昇）、村山北部が▲7.2（前回調査比 10.6 ポイント下落）、最上が▲6.6（前回調査比 7.3 ポイント上昇）、置賜が▲8.2（前回調査比 12.5 ポイント上昇）、庄内田川が▲6.0（前回調査比 9.8 ポイント下落）、庄内飽海が 6.9（前回調査比 15.9 ポイント上昇）となっている。村山北部、庄内田川で悪化した一方で、村山南部、最上、置賜、庄内飽海で改善となった。村山北部では 3 期ぶり、庄内田川では 2 期ぶりに D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

見通し

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 28.02 (n=428)	▲ 13.1	▲ 6.3	▲ 3.5	▲ 33.4	▲ 10.7	▲ 24.7	▲ 9.5
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	▲ 7.8	▲ 5.1	▲ 13.6	▲ 22.9	▲ 13.7	0.0
H 28.08 (n=457)	▲ 6.3	▲ 1.8	10.3	▲ 21.0	▲ 28.8	▲ 1.2	▲ 6.4
H 28.11 (n=435)	▲ 6.0	▲ 4.7	3.4	▲ 13.9	▲ 20.7	3.8	▲ 9.0
<b>H 29.02 (n=443)</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>▲ 2.7</b>	<b>▲ 7.2</b>	<b>▲ 6.6</b>	<b>▲ 8.2</b>	<b>▲ 6.0</b>	<b>6.9</b>
前回調査比	(2.9)	(2.0)	(▲ 10.6)	(7.3)	(12.5)	(▲ 9.8)	(15.9)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 10.6</b>	<b>▲ 7.2</b>	<b>▲ 16.1</b>	<b>▲ 22.2</b>	<b>▲ 16.4</b>	<b>▲ 8.4</b>	<b>▲ 3.5</b>
今回調査比	(▲ 7.5)	(▲ 4.5)	(▲ 8.9)	(▲ 15.6)	(▲ 8.2)	(▲ 2.4)	(▲ 10.4)

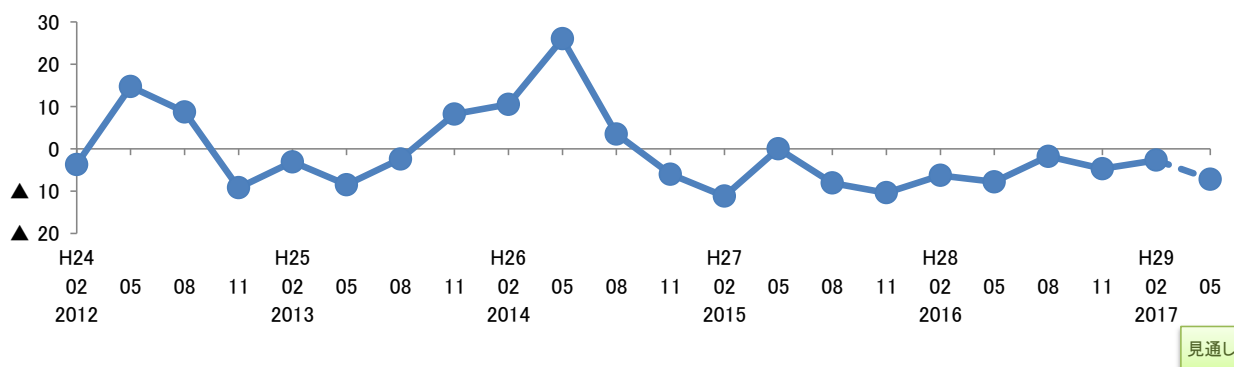
## (2) 地域別 D I 値の動向

### ① 村山南部

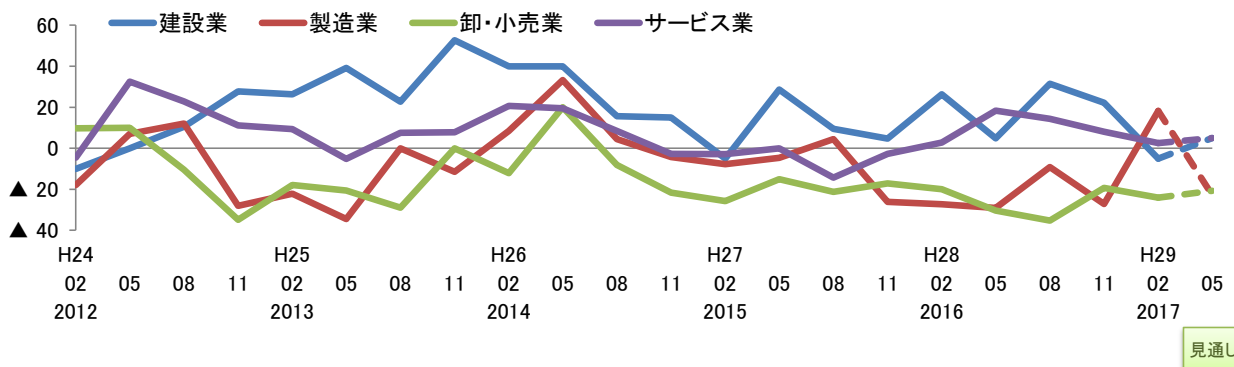
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲2.7（前回調査比 2.0 ポイント上昇）と、一進一退の状況となっている。業種別にみると、製造業で大幅に改善となっているものの、その他の 3 業種は悪化している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲7.2（今回調査比 4.5 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

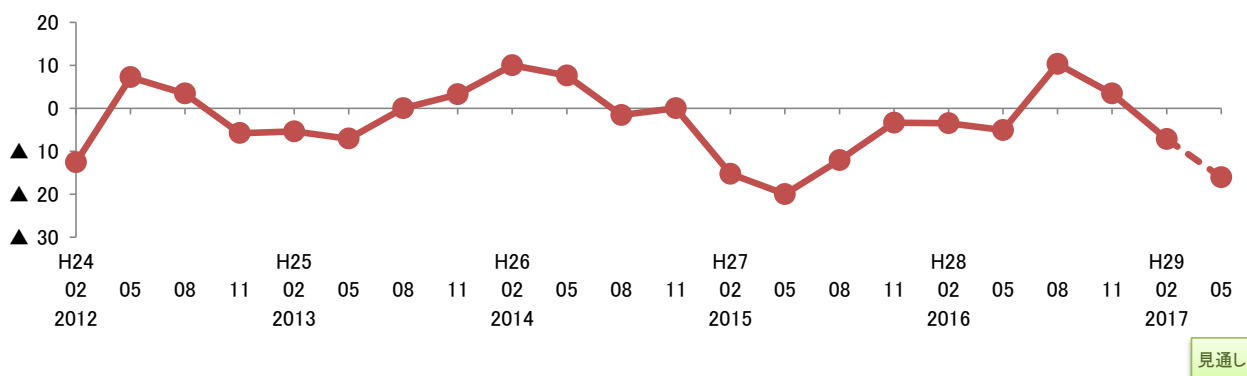
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.02 (n=112)	▲ 6.3	(4.1)	▲ 15.5	26.3	▲ 27.3	▲ 20.0	2.8
H 28.05 (n=116)	▲ 7.8	(▲ 1.5)	▲ 11.6	4.8	▲ 29.1	▲ 30.3	18.4
H 28.08 (n=117)	▲ 1.8	(6.0)	▲ 14.7	31.5	▲ 9.1	▲ 35.3	14.3
H 28.11 (n=108)	▲ 4.7	(▲ 2.9)	▲ 11.1	22.2	▲ 27.2	▲ 19.3	8.1
<b>H 29.02 (n=111)</b>	<b>▲ 2.7</b>	<b>(2.0)</b>	<b>▲ 11.1</b>	<b>▲ 5.0</b>	<b>18.2</b>	<b>▲ 24.1</b>	<b>2.5</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 27.2)	(45.4)	(▲ 4.8)	(▲ 5.6)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 7.2</b>	-	-	<b>5.0</b>	<b>▲ 22.8</b>	<b>▲ 20.7</b>	<b>5.0</b>
今回調査比	(▲ 4.5)	-	-	(10.0)	(▲ 41.0)	(3.4)	(2.5)

## ② 村山北部

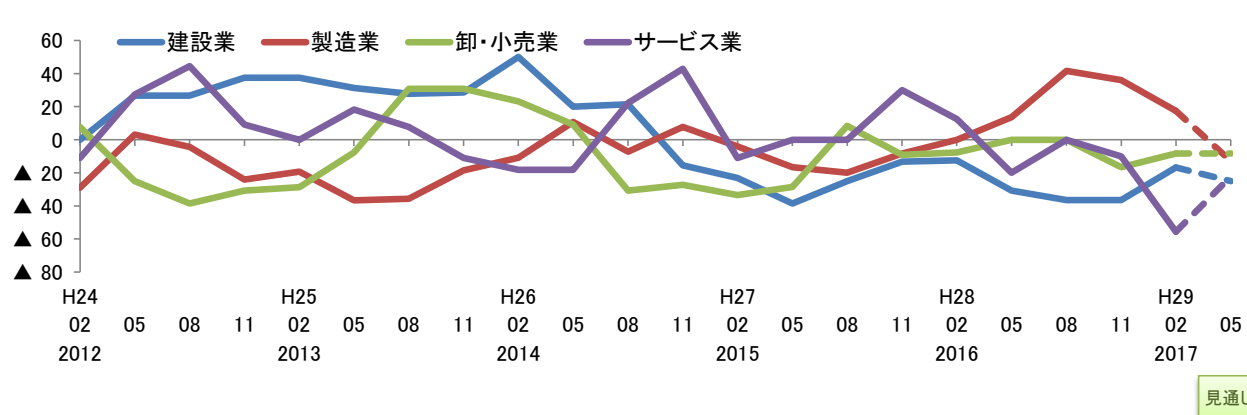
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲7.2（前回調査比 10.6 ポイント下落）と悪化し、3 期ぶりに D I 値がマイナスに転じた。業種別にみると、建設業と卸・小売業で改善したものの、製造業とサービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲16.1（今回調査比 8.9 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

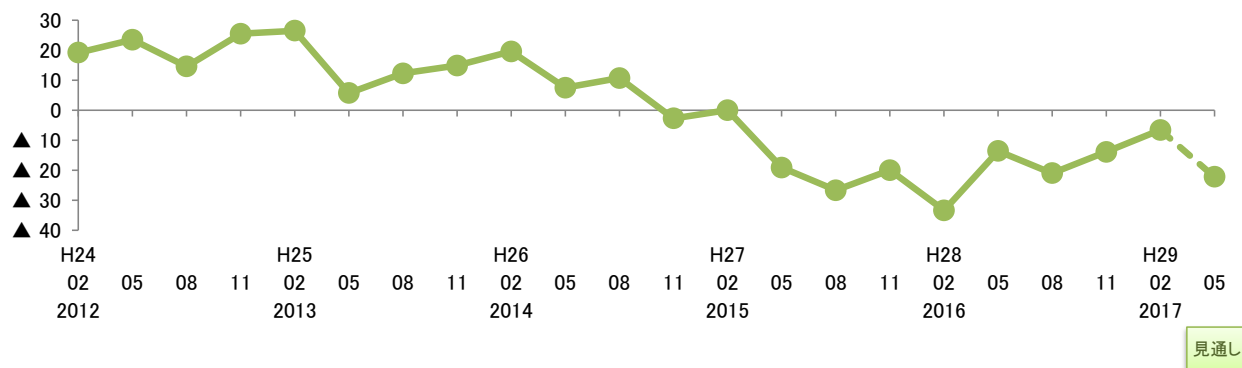
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.02 (n=57)	▲ 3.5	(▲ 0.1)	▲ 6.6	▲ 12.5	0.0	▲ 7.7	12.5
H 28.05 (n=59)	▲ 5.1	(▲ 1.6)	▲ 15.8	▲ 30.8	13.7	0.0	▲ 20.0
H 28.08 (n=58)	10.3	(15.4)	3.4	▲ 36.4	41.6	0.0	0.0
H 28.11 (n=58)	3.4	(▲ 6.9)	5.1	▲ 36.4	36.0	▲ 16.6	▲ 10.0
H 29.02 (n=56)	▲ 7.2	(▲ 10.6)	1.8	▲ 16.7	17.4	▲ 8.3	▲ 55.6
前回調査比	-	-	-	(19.7)	(▲ 18.6)	(8.3)	(▲ 45.6)
先行き見通し	▲ 16.1	-	-	▲ 25.0	▲ 13.0	▲ 8.4	▲ 22.2
今回調査比	(▲ 8.9)	-	-	(▲ 8.3)	(▲ 30.4)	(▲ 0.1)	(33.4)

### ③ 最上

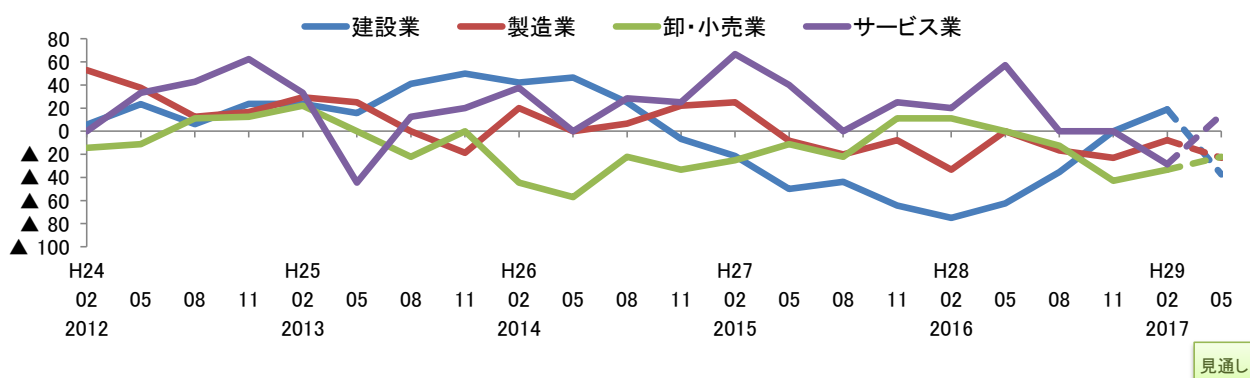
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲6.6（前回調査比 7.3 ポイント上昇）と 2 期連続で改善となった。業種別にみると、サービス業で悪化したものの、その他の 3 業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲22.2（今回調査比 15.6 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

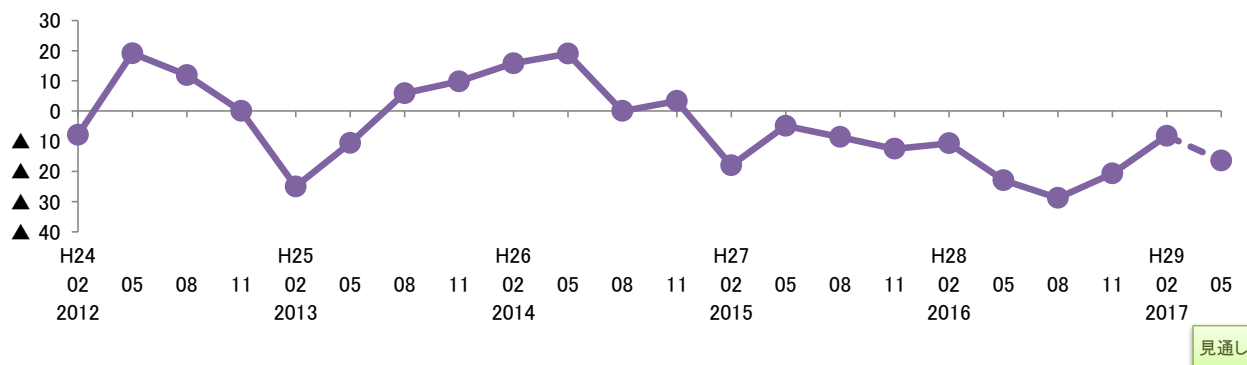
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.02 (n=42)	▲ 33.4	(▲ 13.4)	▲ 22.5	▲ 75.0	▲ 33.3	11.1	20.0
H 28.05 (n=44)	▲ 13.6	(19.8)	▲ 40.5	▲ 62.5	0.0	0.0	57.1
H 28.08 (n=43)	▲ 21.0	(▲ 7.4)	▲ 20.5	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 12.5	0.0
H 28.11 (n=43)	▲ 13.9	(7.1)	▲ 9.3	0.0	▲ 23.1	▲ 42.9	0.0
<b>H 29.02 (n=45)</b>	<b>▲ 6.6</b>	<b>(7.3)</b>	<b>▲ 9.3</b>	<b>18.8</b>	<b>▲ 7.7</b>	<b>▲ 33.3</b>	<b>▲ 28.6</b>
前回調査比	-	-	-	(18.8)	(15.4)	(9.6)	(▲ 28.6)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 22.2</b>	-	-	<b>▲ 37.5</b>	<b>▲ 23.1</b>	<b>▲ 22.2</b>	<b>14.3</b>
今回調査比	(▲ 15.6)	-	-	(▲ 56.3)	(▲ 15.4)	(11.1)	(42.9)

### ④ 置 賜

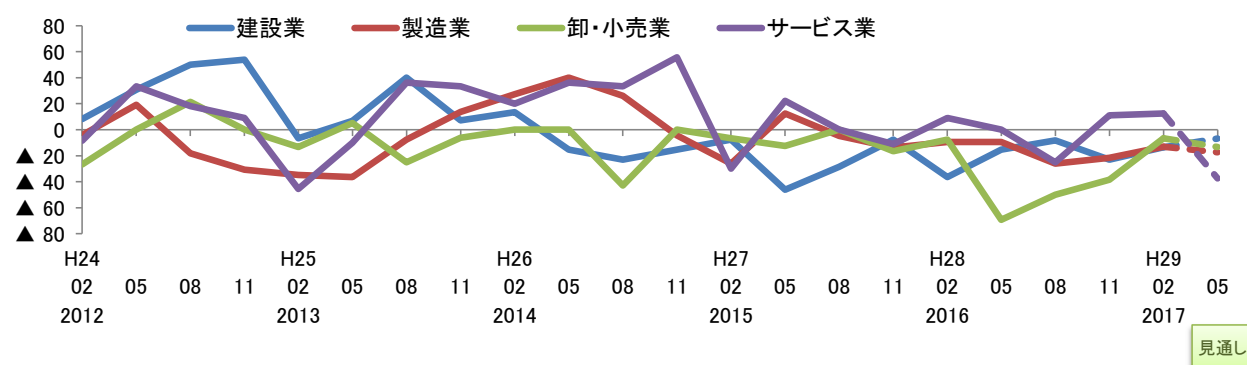
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲8.2（前回調査比 12.5 ポイント上昇）と 2 期連続で改善となった。業種別にみると、すべての業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲16.4（今回調査比 8.2 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 19 置賜「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

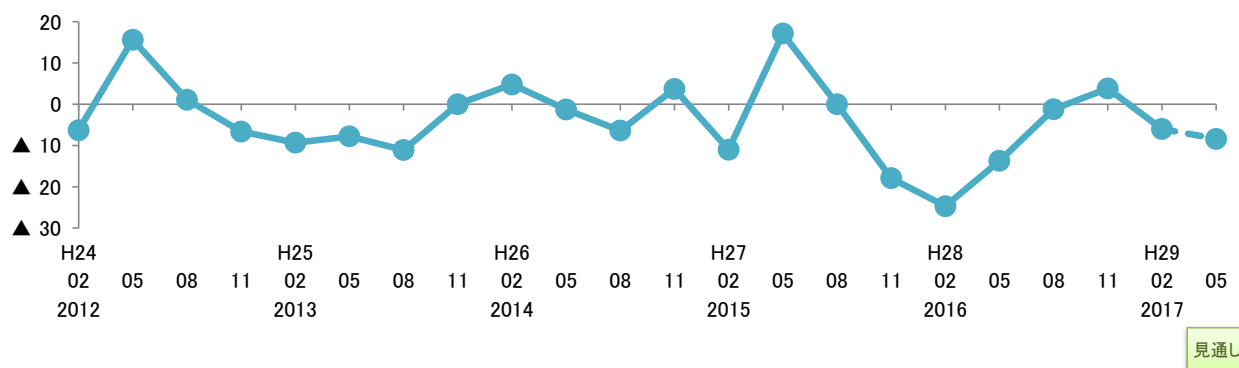
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.02 (n=56)	▲ 10.7	(1.8)	▲ 16.0	▲ 36.4	▲ 9.5	▲ 7.7	9.1
H 28.05 (n=57)	▲ 22.9	(▲ 12.2)	▲ 17.8	▲ 15.4	▲ 9.5	▲ 69.2	0.0
H 28.08 (n=59)	▲ 28.8	(▲ 5.9)	▲ 24.5	▲ 8.3	▲ 26.1	▲ 50.0	▲ 25.0
H 28.11 (n=58)	▲ 20.7	(8.1)	▲ 20.3	▲ 23.1	▲ 21.7	▲ 38.5	11.1
<b>H 29.02 (n=61)</b>	<b>▲ 8.2</b>	<b>(12.5)</b>	<b>▲ 13.8</b>	<b>▲ 13.4</b>	<b>▲ 13.1</b>	<b>▲ 6.6</b>	<b>12.5</b>
前回調査比	-	-	-	(9.7)	(8.6)	(31.9)	(1.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 16.4</b>	-	-	<b>▲ 6.7</b>	<b>▲ 17.4</b>	<b>▲ 13.3</b>	<b>▲ 37.5</b>
今回調査比	(▲ 8.2)	-	-	(6.7)	(▲ 4.3)	(▲ 6.7)	(▲ 50.0)

### ⑤ 庄内田川

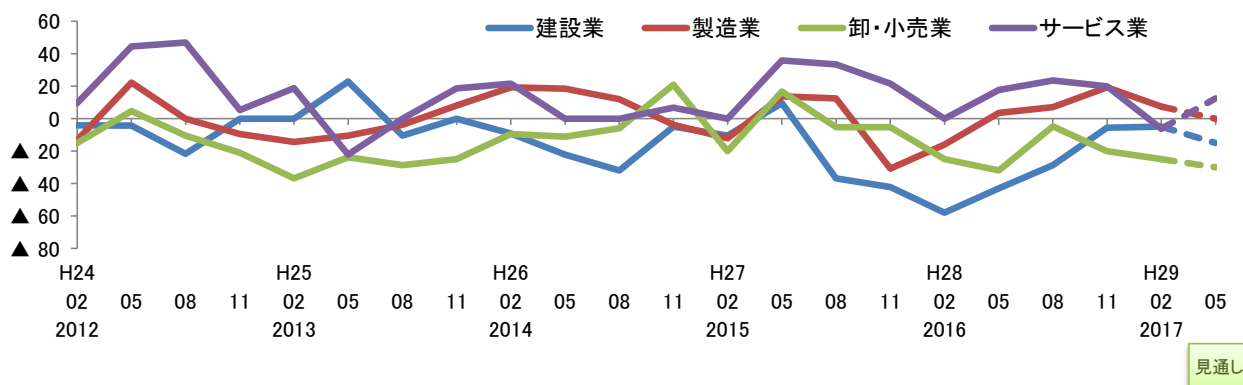
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲6.0（前回調査比 9.8 ポイント下落）と悪化し、前回調査でプラスとなった D I 値が再びマイナスに転じた。業種別にみると、建設業でほぼ横ばいとなったものの、その他の 3 業種で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲8.4（今回調査比 2.4 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

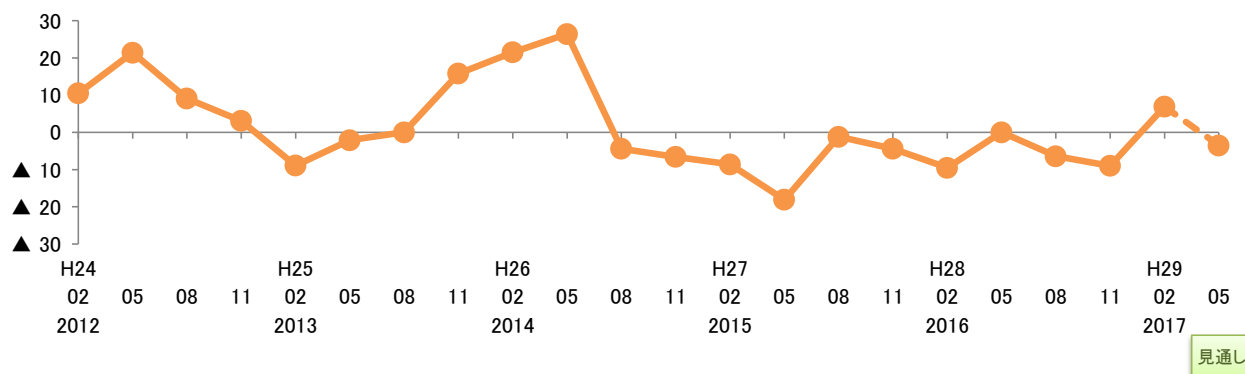
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.02 (n=77)	▲ 24.7	(▲ 6.8)	▲ 6.4	▲ 57.9	▲ 16.0	▲ 25.0	0.0
H 28.05 (n=88)	▲ 13.7	(11.0)	▲ 26.0	▲ 42.9	3.5	▲ 31.9	17.7
H 28.08 (n=87)	▲ 1.2	(12.5)	▲ 12.5	▲ 28.6	7.1	▲ 4.8	23.5
H 28.11 (n=79)	3.8	(5.0)	▲ 18.4	▲ 5.6	19.3	▲ 20.0	20.0
<b>H 29.02 (n=83)</b>	<b>▲ 6.0</b>	<b>(▲ 9.8)</b>	<b>▲ 7.6</b>	<b>▲ 5.0</b>	<b>7.4</b>	<b>▲ 25.0</b>	<b>▲ 6.2</b>
前回調査比	-	-	-	(0.6)	(▲ 11.9)	(▲ 5.0)	(▲ 26.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 8.4</b>	-	-	<b>▲ 15.0</b>	<b>0.0</b>	<b>▲ 30.0</b>	<b>12.5</b>
今回調査比	(▲ 2.4)	-	-	(▲ 10.0)	(▲ 7.4)	(▲ 5.0)	(18.7)

## ⑥ 庄内飽海

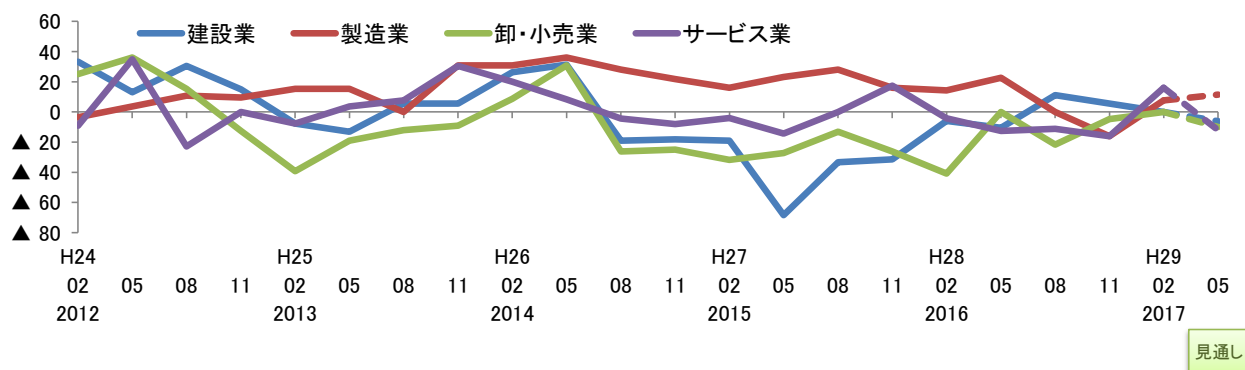
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 6.9（前回調査比 15.9 ポイント上昇）と改善し、D I 値がプラスに転じた。業種別にみると、建設業で悪化したものの、その他の 3 業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲3.5（今回調査比 10.4 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.02 (n=84)	▲ 9.5	(▲ 5.1)	▲ 8.9	▲ 5.9	14.3	▲ 40.9	▲ 4.2
H 28.05 (n=87)	0.0	(9.5)	▲ 19.1	▲ 10.5	22.7	0.0	▲ 12.5
H 28.08 (n=93)	▲ 6.4	(▲ 6.4)	▲ 16.1	11.1	0.0	▲ 21.7	▲ 11.1
H 28.11 (n=89)	▲ 9.0	(▲ 2.6)	▲ 12.9	5.6	▲ 16.0	▲ 4.8	▲ 16.0
<b>H 29.02 (n=87)</b>	<b>6.9</b>	<b>(15.9)</b>	<b>▲ 16.9</b>	<b>0.0</b>	<b>7.7</b>	<b>0.0</b>	<b>16.0</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.6)	(23.7)	(4.8)	(32.0)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 3.5</b>	-	-	<b>▲ 6.2</b>	<b>11.5</b>	<b>▲ 10.0</b>	<b>▲ 12.0</b>
今回調査比	(▲ 10.4)	-	-	(▲ 6.2)	(3.8)	(▲ 10.0)	(▲ 28.0)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

**山形県**

今期の業況 →

来期の見通し

**庄内飽海**

→

**最上**

→

**庄内田川**

→

**村山北部**

→

**置賜**

→

**村山南部**

→

今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							



	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

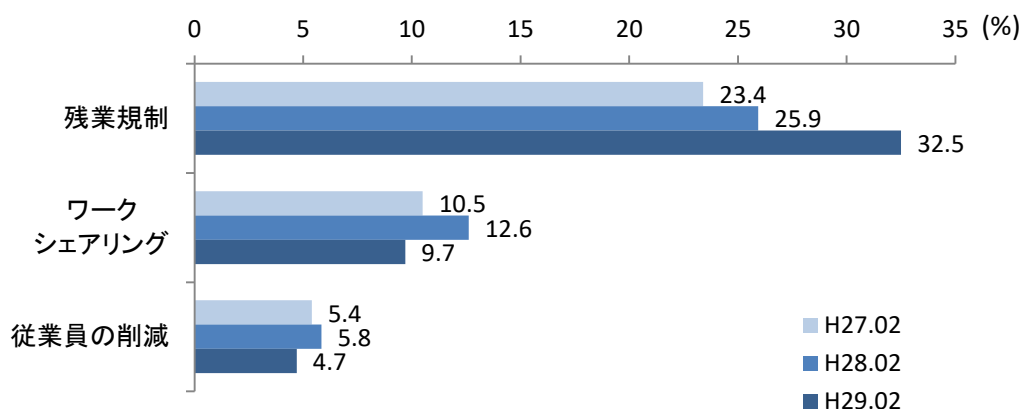


### III. 特別調査

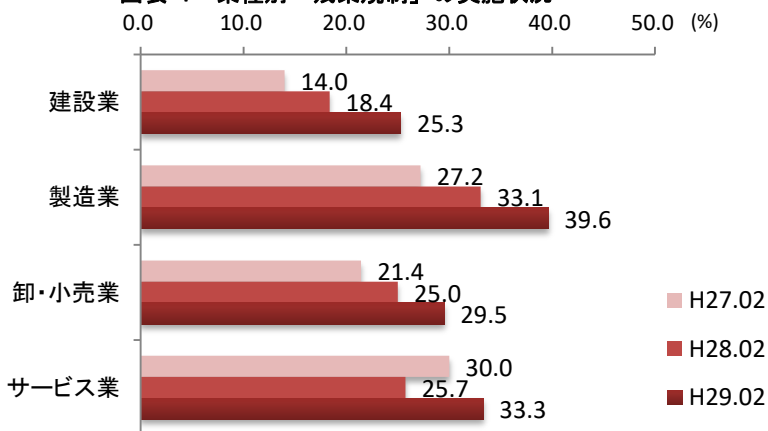
#### 1. 雇用調整について

平成 28 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、「残業規制」が 32.5%（昨年比+6.6%）、「ワークシェアリング」が 9.7%（昨年比▲2.9%）、「従業員の削減」が 5.8%（昨年比▲1.1%）と、昨年に比べ、「残業規制」の割合が上昇した一方で、「ワークシェアリング」「従業員の削減」は低下した。

図表 25 雇用調整の実施状況

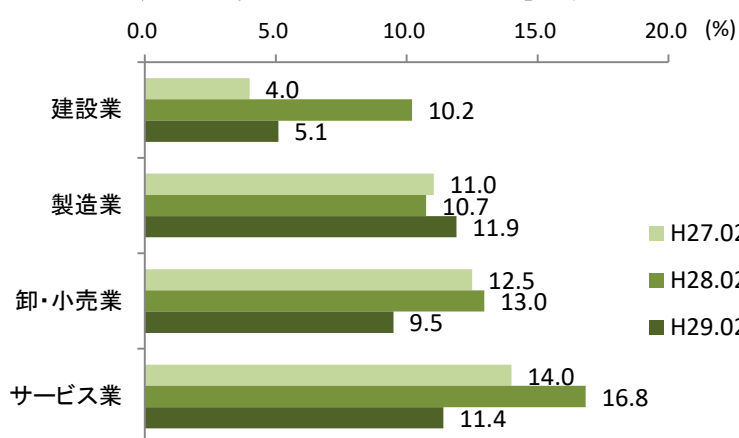


図表 1 業種別「残業規制」の実施状況



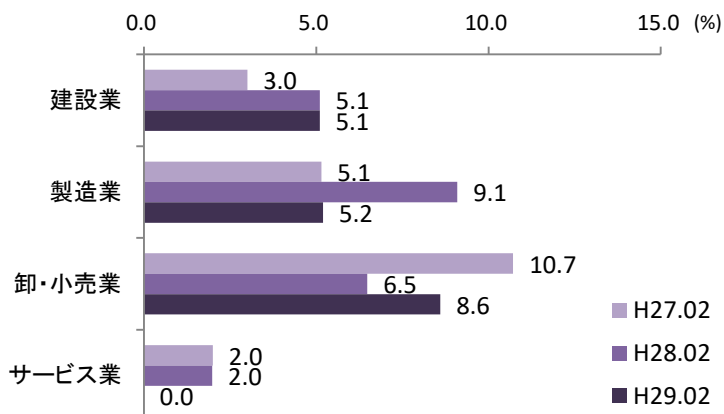
「残業規制」を実施している企業の割合は、昨年と比較すると、すべての業種で上昇している。前述の、業種別「自社の業況DI値（前年同期比）」がサービス業以外は改善傾向で推移していることから、作業効率の向上や経費削減に加え、昨今の働き方改革への対応なども考えられる。

図表 2 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



「ワークシェアリング」を実施している企業の割合は、昨年比で、製造業のみ若干上昇したものの、建設業、卸・小売業、サービス業で低下した。

図表 3 業種別「従業員の削減」の実施状況

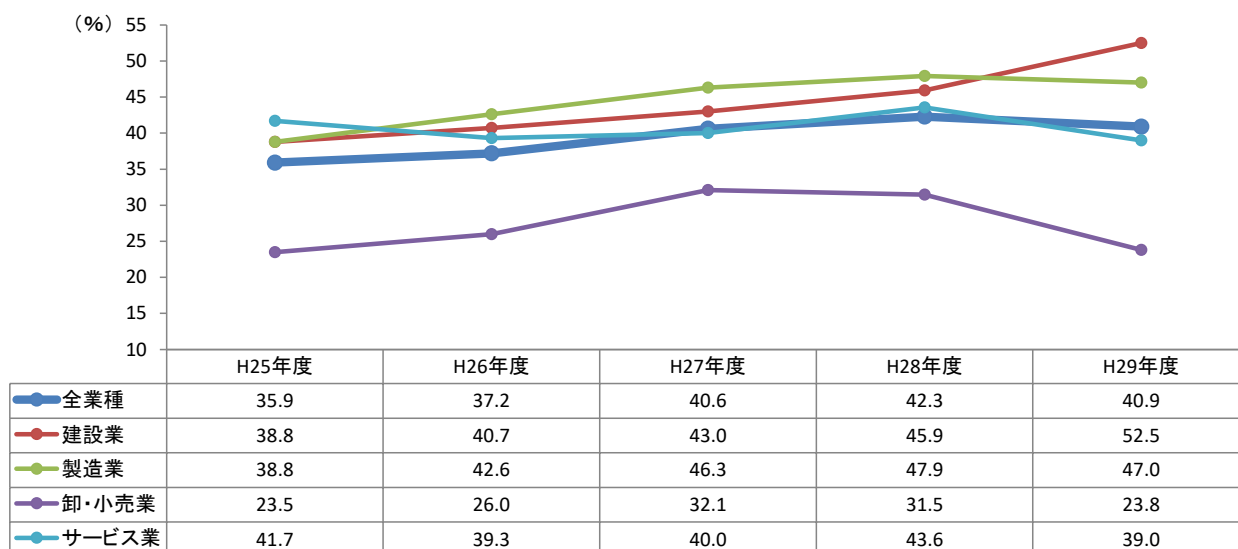


「従業員の削減」を実施している企業の割合は、昨年と比べて、卸・小売業で上昇となったものの、建設業で横ばい、製造業とサービス業で低下となった。サービス業では「従業員の削減」を実施した企業が0%となり、特に人手不足の状況がうかがえる。

## 2. 新卒者の採用状況について

来年度（平成 29 年度）の新卒者の採用状況（採用するかどうか）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種で見ると 40.9%（昨年比▲1.4%）とおおむね横ばいとなった。業種別にみると、建設業が 52.5%（昨年比+6.6%）、製造業が 47.0%（昨年比▲0.9%）、卸・小売業が 23.8%（昨年比▲7.7%）、サービス業が 39.0%（昨年比▲4.6%）と、建設業で上昇、製造業でほぼ横ばい、卸・小売業とサービス業で低下となった。慢性的な人手不足の状況が続く中、来年度の新卒者採用状況が全業種合計でおおむね横ばい、2 業種で低下となった背景には、採用予定者を確保できなかった企業もあるものと考えられる。

図表 4 業種別「新卒者の採用状況」の推移



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	23	35	49	56	163
村山北部	21	37	17	18	93
最上	21	18	11	18	68
置賜	23	32	25	14	94
庄内田川	30	38	29	30	127
庄内飽海	35	36	32	38	141
合計	153	196	163	174	686

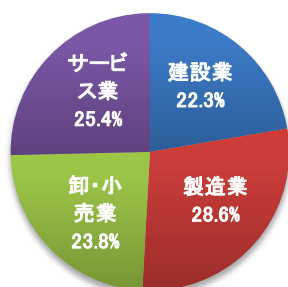
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	20	22	29	40	111
村山北部	12	23	12	9	56
最上	16	13	9	7	45
置賜	15	23	15	7	60
庄内田川	20	27	20	16	83
庄内飽海	16	26	20	26	88
合計	99	134	105	105	443

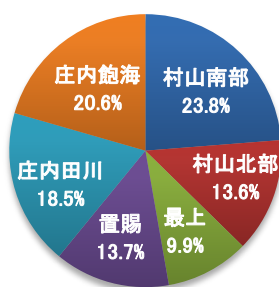
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	87.0	62.9	59.2	71.4	68.1
村山北部	57.1	62.2	70.6	50.0	60.2
最上	76.2	72.2	81.8	38.9	66.2
置賜	65.2	71.9	60.0	50.0	63.8
庄内田川	66.7	71.1	69.0	53.3	65.4
庄内飽海	45.7	72.2	62.5	68.4	62.4
合計	64.7	68.4	64.4	60.3	64.6

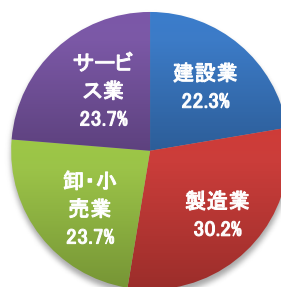
サンプル割合（業種別）



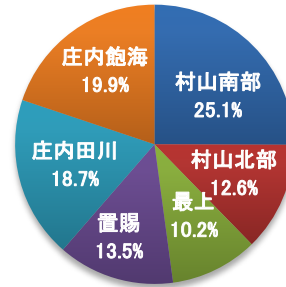
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

平成 29 年 2 月 1 日（水）～14 日（火）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製(商)品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況DI値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

地域政策コンサルティンググループ 熊本 均 / 松田 美由紀

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-2 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp

URL : <http://www.f-ric.co.jp/>